学内研究活動感染リスク審査申請書

大阪大学人間科学研究科

2020年　６月15日版

202１年　４月1日改訂版

学内での研究上生じる感染リスクについて

申請者は以下の点に十分に留意して研究計画を立ててください。

１．新型コロナウイルスは、無症状でも人に感染させるリスクがあることに留意し、人との接触を必要とする学内研究活動においては、２週間程度は感染リスクを下げる生活に留意すること。

２．研究協力者、研究参加者など学外から研究に参加する人を含む研究の場合には、参加者の移動、研究参加による感染リスクについて十分に理解していただいた上で実施すること。また、研究者は感染すると重篤化するリスクのある参加者、すでに感染している可能性のある参加者の研究参加については十分に慎重に対応すること。

3．研究の準備、実施、終了後の各段階において、感染予防と感染発生時の対応を徹底できること。

具体的には、下記を遵守すること。

1. 研究者、研究参加者の感染リスクについてのセルフアセスメントの実施
2. 人と同室となる場所の十分な換気
3. 人と接触する場面での相互のマスク着用確認
4. 身体的な接触や物品の共用の回避
5. 研究活動中に接触した人々の記録
6. 研究活動前、中、後における研究者および参加者全員の手指・物品の消毒

４．学生は、指導教員に研究活動前後の健康状態を報告すること。

５．研究活動の内容に応じて、最適な感染予防措置を講じることができるように、指導教員が周知徹底すること。

６．感染者が低減している状況での感染事例の発生は、研究者、研究参加者に対して甚大な社会的影響が及ぶことに鑑み、感染対策の徹底はもとより、実施の可否についても慎重な判断を行うこと。

学内研究活動による感染リスクチェックシート

提出日：　　　　　　　　年　　　　月　　　　日（全学の基準：　　　　　）

許可日：　　　　　　　　年　　　　月　　　　日（全学の基準：　　　　　）

|  |
| --- |
| 申請者の所属　[ ] 行動系　[ ] 社会系　[ ] 教育系　[ ] 共生学系　[ ] 附属未来共創センター  |
| 研究分野名 | 職または学年 | 指導教員名（大学院生・学部生の場合）と承認(自署) |
| 申請者氏名 | 研究課題名 |
| 研究概要 |  |
| 確認 | 下記の記載事項に相違なく、感染防止に努めます。署名 |

1．研究を実施する場所

|  |
| --- |
|[ ]  屋内　具体的な室名　　　　　　　　　およその面積　　　同室する人数　　　　　　　　　換気対策 |
|[ ]  屋外　具体的な場所　　　接触する人との距離 |

２．研究において接触する可能性のある人・動物

|  |
| --- |
|[ ]  感染すると重症化するリスクのある人を含む |
|[ ]  感染すると重症化するリスクのある人を含むかどうかわからない |
|[ ]  感染する可能性のある動物を含む |
|[ ]  子どもを含む |
|[ ]  多数の人（10人以上）と同時に接触する可能性がある |

上記について具体的な配慮・対応策があれば記載してください。

３．人・動物との接触の仕方（該当するものすべて）

|  |
| --- |
|[ ]  研究上、3密に近い環境を作る必要がある |
|  | 対策 |  |
|[ ]  研究上、3密に近い環境の中での作業がある |
|  | 対策 |  |
|[ ]  30分以上接近した距離で話をするなど濃厚接触（2m以内５分以上の接触）となることが頻繁にある |
|  | 対策 |  |
|[ ]  30分以上接近した距離で話をするなど濃厚接触（2m以内５分以上の接触）となることが稀にある |
|  | 対策 |  |
|[ ]  濃厚接触（2m以内５分以上の接触）に該当するような可能性はない |

４．研究活動実施中に接触した人々の記録

|  |
| --- |
|[ ]  研究者は研究活動中、参加者と接触した人々について記録できる |
|  | できない場合の対策（感染が発生した場合濃厚接触者の追跡方法） |
|  |  |

５．研究者・研究参加者の感染リスクセルフアセスメント

|  |
| --- |
|[ ]  研究者・研究参加者ともに下記の感染リスクセルフアセスメントを実施し、各自署名できますか？また、感染により重篤化するリスクが高い参加者、感染リスクが高い参加者については参加を見合わせるステップを組み込んでいますか？ |
|  | セルフアセスメント1. 下記に該当しますか？

[ ]  65歳以上[ ] 次のような基礎疾患をもっている。（ぜんそく、肝臓病、慢性腎不全、慢性肺疾患、糖尿病、心臓病、ヘモグロビン病、肥満症、免疫不全）[ ] 介護施設・医療施設で働いている。２）過去１４日間以内に、感染が確定した人と２メートル以内の距離で５分以上接触したか、あるいは直接唾液などの飛沫に触れましたか。はい　　　　　　いいえ３）過去４８時間以内に次の症状のうちいずれかを新たに発症しましたか。発熱または悪寒や発汗　　　はい　　　　　　いいえ悪寒による体の震え　　　　はい　　　　　　いいえ筋肉痛　　　　　　　　　　はい　　　　　　いいえ喉の痛み　　　　　　　　　はい　　　　　　いいえ味覚・嗅覚の異常　　　　　はい　　　　　　いいえ吐き気、嘔吐、下痢　　　　はい　　　　　　いいえ頭痛　　　　　　　　　　　はい　　　　　　いいえ**※2）と3）については、調査研究が２週間以上の長期にわたる場合、申請時のみならず調査途中で随時アセスメントの手順を踏むようにしてください。** |
|  | できない場合の対策（感染リスクの評価方法） |

６．研究活動中の消毒

|  |
| --- |
|[ ]  研究者は研究活動中、自身及び研究参加者の手指・物品の消毒を頻繁に実施する |
|  | できない場合の対策 |
|  |  |